

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

ペチカ

<北原白秋>

♪♪
 雪の降る夜は楽しいペチカ
 ペチカ燃えろよ お話しましょ
 むかし むかしよ
 燃えろよペチカ

小学生の頃好きだった歌の一つです。しんと雪が降り積もる夜に、家族みんなが暖炉のそばに集まって楽しそうにお話している様子が目に浮かびます。

土曜の夜から降り積もる雪。町は一夜にして真っ白になりました。10年に一度と言われる寒波の襲来。寒さがこたえます。でも、家の中で暖を取るために家族が一つの部屋に集まる風景が見られるのならそれもまたいい。

♪♪
 雪の降る夜は楽しいペチカ
 ペチカ燃えろよお話しましょ
 火の粉ぱちぱち
 はねろよペチカ

朝

月曜日の朝、恐る恐る雪道を歩きながら学校に向かいました。途中、新聞配達の人とすれ違いました。こんな日でも、朝刊を待つ人のためにいつも通り働いている人に頭が下がります。

真っ暗な中、学校に到着しました。私が一番乗りとと思っていましたが、すでに教頭先生が学校にきていました。

朝の6時半、給食室に明かりがともりました。給食室の調理員さんが仕事を始めました。調理員さんは、今朝の雪に備えて、昨日から近くのホテルに泊まって今日に備えていたということです。

子どもたちの日常を支える人たち
 当たり前のようなこの日常も
 雪が積もるこのような朝を迎えようと
 当たり前と思っていた日常を
 支えてくれている人たちに
 改めて感謝せずにはおれません



子どもの時間

子どもには、それぞれに自分が育っていくために必要な時間があるような気がします。

幼稚園の時に場面緘黙症になって以来、家の外では全く声を出すことのできない女の子に出会ったことがあります。小学校に入学しても、学校では一言も声を出すことがありませんでした。



6年生になった時の彼女の担任は、

「卒業式でぼくが呼名した時に、彼女が声を出して返事をしてくれることがぼくの夢です」。

と、私に語ってくれました。担任は、彼女に声を出すことを強いることはありませんでした。でも、彼女も彼女のクラスの友達も、大好きな先生の願いを知っていました。

卒業式前日、最後の卒業式の練習の時に、担任が彼女の名前を呼ぶと、彼女はステージの上で、かすかに「はい」と返事をしました。

小学校6年間で、初めて学校で声を出した瞬間です。

一瞬の静寂の後、担任は嗚咽し、クラスの子どもたちの目からは涙がこぼれ落ちました。

私たちは、待つことを恐れます。待つことによって失うものを考えるからです。

しかし、子どもにはそれぞれに自分で成長していくために必要な時間があることを改めて知らされました。

待つ勇気を持った親であり教師でありたいと思います。

